

IGFは、IBMのリース・ファイナンス部門です。
 IGFは、ITライフサイクル全般のご支援をします。
 IGFは、お客様のIT投資に関するコンサルティング・パートナーです。

IT資産管理により、年間5%から10%のコストを削減できます。

ガートナーによると、企業にはさまざまなタイプのリスクがあります。

- **規制上のリスク (罰金、刑事訴追)**
 - 規制へのコンプライアンスで特に重要なことは、どのようなIT資産を所有しているか、そうしたIT資産にどのようなデータが保存されているか、そしてデータにアクセスできるのは誰かを把握することである。
- **ビジネス上のリスク (ビジネスを変革できない。)**
 - 資産管理プログラムが存在しない場合は、企業が必要なITのコスト、経費および資本投資の予算を立て、予測する能力が低下する。
- **財務上のリスク (直接的な収益源や予想外の支出)**
 - 財務上のリスクは、ハードウェアやソフトウェアの展開やアップグレードのタイミングが悪いことや、システムへのアクセスが失われたことに起因する、直接的な収益減あるいは予想外の支出によって生じる。
- **オペレーショナル・リスク (業績、財務実績を達成できない。)**
 - オペレーショナル・リスクは、信頼性の低いインフラストラクチャーが事業経営に影響を及ぼす際に生じる。IT資産管理システムが、意味のある情報を提供する能力、および企業の変化する要件と能力に迅速に対応する能力によって、展開されたITソリューションの成否が決まることが多い。
- **法的なリスク (企業・ブランドイメージが損なわれる。)**
 - ソフトウェアの不正コピー、ソフトウェア・ライセンス契約違反、著作権侵害、および電子機器の不適切な処分に関する法的なリスクがある。

ガートナーの結論

IT資産管理は、リスクを最小限に抑え、政府による多様かつ新規の規制、法律、および知的財産の問題へのコンプライアンスを確実にするための必須事項である。IT資産管理は、企業に関する、そして企業が負えると考えるリスクレベルに関する、戦術的および戦略的な意思決定を経営陣が行うための情報を常に提供する継続的なビジネス・プロセスである。自社のIT資産のライフサイクルを総合的に管理する企業は、資産当たりのコストを最初の1年で30%、そして次の5年間で毎年5から10%削減できる。(可能性指数=0.8)。

出典：ガートナー「IT資産管理を使って企業のリスクを軽減する」F. O'Brien 2005年1月31日 GJ06267

IGFのリース資産管理ツールならさまざまな問題を解決できます。

IGFの提供するWebベースのリース資産管理ツールIGFCC (IGF Customer Centre) なら、以下のような問題を解決します。

お客様のほかえる問題

- リース満了間近だが、どのPCを返却すればよいかわからない。
- リース中の特定の物件の契約期間、毎月の請求内容、使用者情報を知りたい。
- リースしているPC台数も増え、メーカーもバラバラで管理が大変。

解決策

- 抽出条件を指定して、リース物件情報を即時に照会できます。
 - 抽出結果をスプレッドシート(CSV形式)で出力できます。
- (部門ごとの物件管理、ロケーションごとの請求書管理など)
- お客様独自の情報をリース物件単位で登録することができます。
- (利用者、管理部署、コスト賦課部門など)

IGFのリース資産管理ツールIGFCCでできること。

- オンラインでリース資産の状況を管理します。
 - 例えば以下の状況を調べられます。
 - ・ 契約(借受証)番号
 - ・ 機種、型式、シリアル番号
 - ・ リース開始日
 - ・ リース満了日
 - 向こう36カ月のリース費用推移を把握できます。
 - 資産管理にかかる時間を短縮します。
 - ・ 請求の消しこみをより早く簡単にできます。
- タイムリーな意思決定を可能にし、手作業による間違いを減らします。
 - データをダウンロードし、個別のニーズにカスタマイズしたレポートを作成、保存、印刷、エクスポートできます。
- 標準のブラウザを使用しているため、いつでもどこでもリース物件のデータにアクセスできます。
- 標準のブラウザから安全にアクセスできるように暗号化されたパスワード・プロテクションを使用しています。
- 一つのリース物件のレコードに50以上のデータフィールドがあります。毎月アップデートされるデータをダウンロードし、スプレッドシートで加工できます。
- 世界中のリース資産のレポートや請求情報を統合できます。

契約情報一覧の検索結果出カイメージ

主なご提供項目

- リース契約情報
- リース物件情報
- リース料金情報
- 設置先情報
- 管理者/使用者情報
- 購入先情報

来月満了予定の契約一覧を検索することもできます。

実際に以下の用途でご活用いただき、お客様にご満足いただいています。

- リース物件返却、物件使用者の部署異動の際の所有者および物件の特定
- 年度予算を立てる際の該当年度分の支払い予定金額の照会
- 経理部門による該当月支出の把握
- 自社内のリース物件管理台帳DBの情報元
- リース満了通知書と該当月満了物件の照合
- 不明な点があった場合の過去のデータの参照
- 一括購入して各部門に振替えているため、リース物件単位のリース料金を参照
- 請求書と個々のリース物件との照合

まずは、お気軽にご相談ください。

IBMグローバル・ファイナンス
0120-47-3301

受付時間：月曜日～金曜日 9:00-18:00
(土日祝 6/17、12/30-1/3を除く)

※IGFCCは、IGFでリースをご利用いただいているお客様にご提供する無料のツールです。

※IGFCCのご利用につきましては、合意書の締結、個別のユーザーIDの取得が必要となります。詳細につきましては、弊社担当営業か右記へお問い合わせください。